

結実・果実肥大は良好です。

良果を見極め、早期に仕上げ摘果を終了しましょう！

1 生育状況

花そう結実率は、多くの調査園地・品種において平年並み～平年より高いですが、一部園地・品種では凍霜害により中心果結実率が平年よりやや低くなっています。生育診断圃（奥州市江刺樽輪）における果実肥大は「ジョナゴールド」「ふじ」いずれも平年を上回っています。

表1 結実率

地点	品 種	花数結実率 (%)			花そう結実率 (%)			中心花結実率 (%)		
		R6	平年	R5	R6	平年	R5	R6	平年	R5
前沢稲置	ふじ	89.0	75.4	33.1	100.0	96.2	67.0	94.1	79.8	22.0
江刺樽輪	ジョナゴールド	72.1	73.0	60.3	99.2	93.8	95.2	57.3	62.8	33.3
	ふじ	84.4	66.6	77.3	100.0	90.6	97.4	93.2	66.7	62.6
江刺伊手	ジョナゴールド	61.1	70.4	85.7	88.5	96.5	100.0	42.3	65.0	63.7
	ふじ	74.9	67.7	88.7	95.2	90.7	100.0	51.2	65.9	68.3

※平年値はH26年～R5年の10年平均

表2 果実横径（6月1日、奥州市江刺樽輪 ※R6年は5/31に計測）

品種	R6	R5	平年	平年比
ジョナゴールド	28.3 mm	27.0 mm	22.4 mm	126 %
ふじ	23.7 mm	24.3 mm	18.8 mm	126 %

※平年値はH26～R5年の10年平均

2 今後の天候

6～8月は、平年より気温が高くなる確率が高いです。

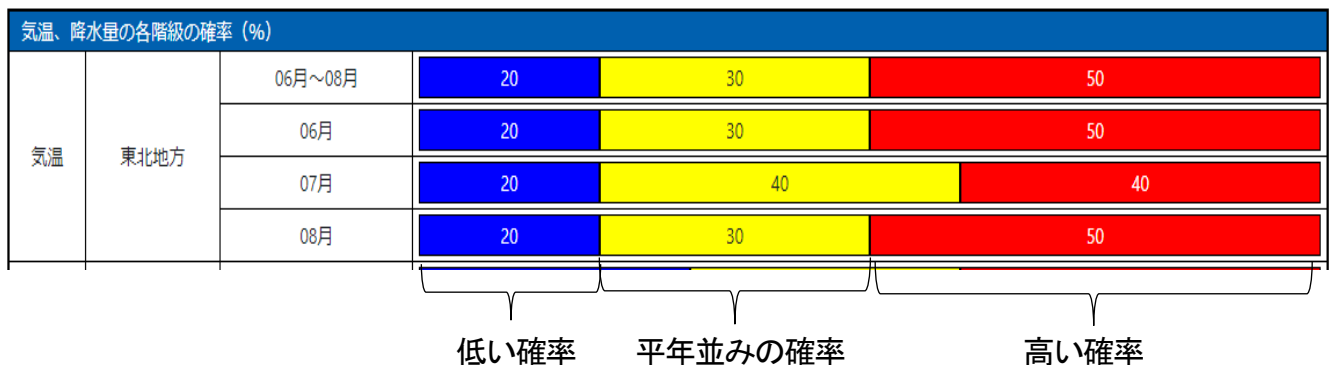


図1 6～8月の気温の確率3か月予報（気象庁5/21発表）

3 仕上げ摘果

(1) 時期

仕上げ摘果は満開60日後を目安に終了します。特に「紅ロマン」、「奥州ロマン」は摘果が遅れると小玉になりやすいので、できる限り早く仕上げ摘果を実施します。

表3 摘果時期の目安

	ふじ満開日	満開30日後 (あら摘果終了)	満開60日後 (仕上げ摘果終了)
前沢稲置	4月26日	5月26日	6月25日
江刺樽輪	4月27日	5月27日	6月26日
江刺伊手	4月30日	5月30日	6月29日

(2) 残す果実、摘果する果実の目安

ア 仕上げ摘果は、図2を目安に摘果し、最終的な着果量とします。最終的な着果量は、「ジョナゴールド」等の3倍体品種で6～7頂芽に1果、「ふじ」等それ以外の品種では5～6頂芽に1果とします。

イ 結実は、短果枝、中果枝を主体としますが、「トキ」は肥大・果形が良ければ長果枝も利用できます。

ウ 凍霜害の影響が見られる場合は、中心果にこだわらず、側果も利用します。

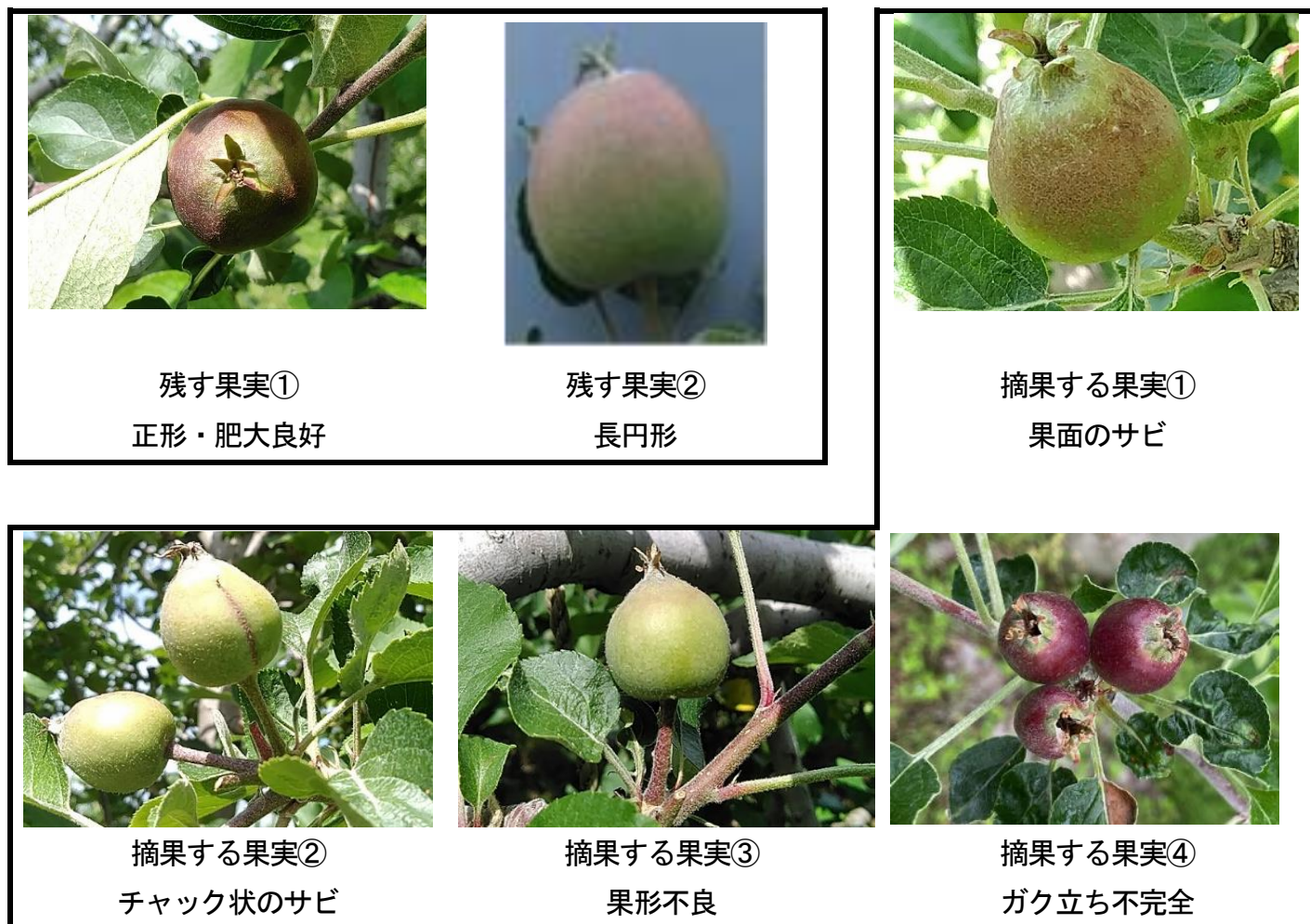


図2 摘果時に残す果実、摘果する果実の目安

4 気象災害対策

(1) 高温

日焼け対策として、果実への**白色化繊布（商品名：サンテ®）の被覆が有効**です。着色への影響を回避するため、収穫前に必ず取り外します（令和5年度岩手県試験研究成果）。

< 試験概要 >

- ・品種：紅ロマン/JM7、11年生（R5時点）、植栽距離：5.0×2.5m。
- ・サンテは、ポリエステル製で伸縮性のある筒状の果実被覆資材である（図1）。
- ・サンテの被覆は、梅雨明け後に実施（R3.7.21、R4.7.27、R5.7.24）。
- ・サンテ被覆区の収穫前取り外しは、収穫予定の5日前頃の曇天時または夕方に実施。
- ・着色管理は、各試験区とも収穫予定の10日前頃および3日前頃に実施。



図3 令和5年度岩手県試験研究成果の概要とサンテの被覆状況

(2) 乾燥

ア 1週間以上まとまった降雨がなく、土壌乾燥が続く場合には灌水します（特に今春定植した苗木など）。

イ 養水分の競合を避けるため草丈を短く維持します。樹冠下は刈草やわら等で被覆します。

(3) 排水

多雨時に園内の地表水を園外に迅速に排除するため、滞水する地表面の凹地を出来るだけ解消しておきます。

(4) 強風

主幹と支柱の結束を見直し、倒伏を防止します。

5 病虫害防除

(1) 病害

6～7月は、**斑点落葉病、褐斑病、炭疽病、輪紋病、黒点病等主要病害に感染する時期**です（図4）。防除暦に従い適期防除に努めましょう

生育ステージ/ 病害名	4月			5月		6月				7月			8月			9月		
	芽出前 ～芽出 当時	展葉 3日 後	花蕾 着色 期	開花 直前	落花 期	落花 10日 後	落花 20日 後	6月 下旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
モニリア病		◎	◎															
黒星病		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
赤星病			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
うどんこ病			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
斑点落葉病						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
褐斑病					◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
黒点病						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
炭疽病						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
輪紋病									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
すす斑病																	◎	

図4 主要病害の発生生態と重点防除時期

※横棒は感染時期、網掛けは重点防除時期を示す。 ※◎は効果の高い薬剤を散布する時期を示す。

ア 腐らん病

- ・ 5月後半時点での県南部における発生園地率は平年より高かった。*
- ・ 一度処置を行った園地でも、再度園地を観察し、病患部を見つけ次第、剪除・処分を実施しましょう。

イ 黒星病

- ・ R6年の感染好適日は、4/24～25（開花直前～開花始め）、4/30（満開～落花）でした。降雨が少なかったため、発生程度は低いと考えられます。*
- ・ 発病葉や発病果は摘み取り、園地外へ持ち出すか土中に埋めて処分しましょう。



果実病斑



葉表の病斑



葉裏の病斑

図5 黒星病斑

ウ 褐斑病

- ・ R6年の一次感染開始日（江刺）は、5/7でした。*
- ・ 防除暦に従って殺菌剤を散布しましょう。

(2) 虫害

ア ハダニ類

- ・ 5月後半時点の県南部におけるリンゴハダニの発生園地率は、平年より低く、ナミハダニの発生は確認されませんでした。*
- ・ ハダニ類の発生が目立ち始める時期です。防除暦に従い適期病害虫防除に努めますが、寄生葉率30%を目安とし、多発している場合は薬剤防除を繰り上げ、発生が見られない場合は繰り下げます。

イ 果樹カメムシ類

- ・ 5月後半時点で、クサギカメムシの誘殺は確認されておらず、チャバネアオカメムシの誘殺はおおむね平年並みでした。*
- ・ 飛来状況とともに周辺の樹木や防風ネット等も観察し、被害果や成虫を見かけるようになったら防除暦の留意点を参考に薬剤を散布しましょう。

ウ ヒメボクトウ

- ・ 樹幹などから木屑が排出されている場合は、6月上旬までに適用のあるエアゾル剤を処理すると高い効果が得られます。

※印：岩手県病害虫防除所、病理昆虫研究室による情報。

エ ナシマルカイガラムシ



被害果

枝に寄生

雌成虫

図6 ナシマルカイガラムシとその被害 ※出典：農研機構

- ・年2～3世代発生し、樹皮上に1齢幼虫で越冬します。越冬幼虫は5月に成虫となり産卵。ふ化した第一世代「1齢幼虫（歩行幼虫）」は有脚で6月に盛んに移動します。定着してから2～3日経過すると被覆物を形成し、2週間で動かない2齢幼虫となります。
- ・ふ化した後の歩行幼虫は、介殻を形成しておらず、さらに第一世代は、発生が揃っているため、この時期の防除が効果的です（それ以降の出現時期は不揃い）。

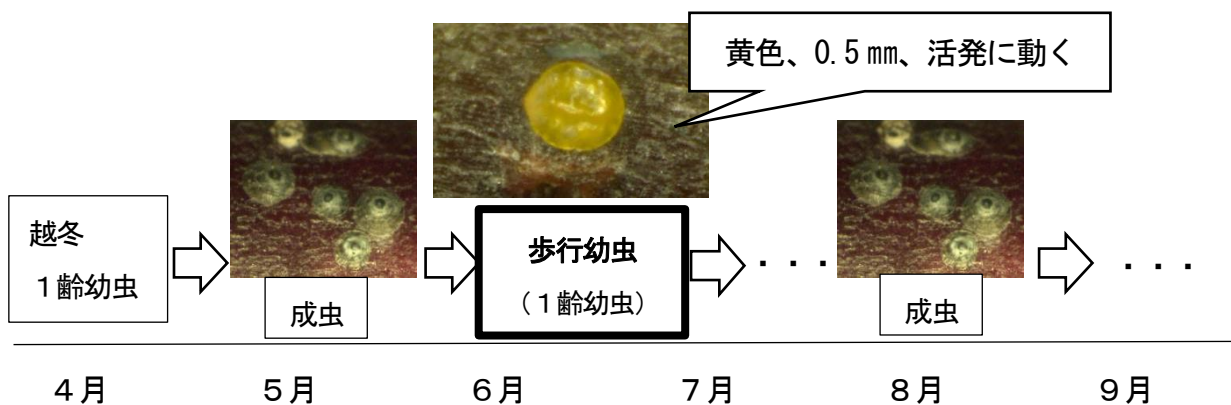


図7 ナシマルカイガラムシ発生のイメージ図

表4 JPPネットを利用したR6年度のナシマルカイガラムシ歩行幼虫の発生予測日

歩行幼虫の発生期	盛岡	花巻	江刺	一関	宮古	大船渡	二戸
第一世代ふ化初期	6月5日	6月6日	5月31日	5月31日	6月7日	6月3日	6月11日
第一世代ふ化盛期	6月15日	6月15日	6月10日	6月10日	6月20日	6月14日	6月22日

JPP ネットによる発生予測日：有効積算温度シミュレーションで予測

- ・雌成虫が多発している場合や、第一世代幼虫が介殻を形成し始めた場合は、介殻をたわし等で削り取ってから農薬を散布しましょう。

(3) その他防除の要点

ア 【重要！！】極早生品種「紅ロマン」の農薬散布

収穫前日数を考慮し、収穫前日数が長い薬剤の散布時期が遅れないよう注意しましょう。

表5 「紅ロマン」の収穫目安と満開起算

地点	紅ロマン 満開日	収穫の目安	満開 起算	満開起算 到達日	満開起算 到達日の 30日前	満開起算 到達日の 14日前
前沢 稲置	4/21	すぐりもぎ 開始	100日	7月30日	<u>6月30日</u>	<u>7月16日</u>
		収穫ピーク	105日	8月4日	7月5日	7月21日

イ 不要な徒長枝は早めにせん除。

ウ スピードスプレーヤの旋回場所となる樹列端など薬液の散布ムラを生じやすい部位・例年発生がみられる部位は丁寧に十分量散布。

エ 散布間隔を空けすぎず、雨前散布。

オ 散布後乾燥するまでの間、降雨のない日に散布日を調整する。

カ 周囲に他の作物がある場合は、薬剤が飛散しないように十分注意する

～農作業安全！機械操作や熱中症に気を付けて作業しましょう！～